

◆市立芦別病院の診療体制の変更等に関すること

【ご質問と回答】

- Q. 出張医師の対応となっている診療科について、曜日によって診察が休みの場合もあるので困っており、改善できないのか。
- A. 現在、手術を行える体制を整えるため、外科医の確保を最重要課題として探しています。週2日程度の診療では十分な対応ができないので、今後も常勤医師の確保に努めていきます。
- Q. 11月から診療体制が変更となったこと、出張医師がどこの病院から来ているのかなど、市の広報紙でのPRが必要なのではないかと。
- A. 派遣先の病院に確認するなど、できる限り市民への周知を行っていきます。
- Q. 外科は火曜日と木曜日に出張医師の対応となっているが、手術も含めて対応してもらえるのか。また、合宿等で選手が来ている時には整形外科の医師を配置するなどの考えはあるのか。
- A. 残念ながら手術は行っておらず、滝川市立病院と砂川市立病院にお願いしています。合宿で本市へ来られる方には、事前に常勤医がいないので市外での対応になることを説明しています。

【ご意見・ご提言】

- 外科医の確保について本腰を入れて行ってほしい。
- 手術は旭川や札幌などの病院で行い、術後のリハビリ科などの病床を新たに作ることはできないか。
- 救急搬送の緩和をもっと考えてほしい。
- 市立芦別病院は市民の安心安全を守るために必要な施設なので、無くさないでほしい。

◆その他市政全般に関すること

【ご質問と回答】

- Q. アスベストの問題について、市内小中学校の状況はどうなっているのか。
- A. 2年前に集合煙突の中にアスベストが含まれているかの調査を実施しており、芦別中学校を除く3つの小中学校でアスベストが含有されているものの、アスベストが飛散する状況は見受けられないという調査結果でした。今後、改めて専門業者による調査を行い、万全な体制を図っていきます。
- Q. 市長の政策を教えてください。
- A. 市長就任後、市民福祉の向上、生活の安定を願い、中学生まで医療費を無料化するなど、子育て支援に力を入れ市政を運営してきました。今後も子育て支援、各市内企業の経営安定、企業の人材確保などを重点的に行っていきたいと考えています。

【ご意見・ご提言】

- 小中学校の給食は、食育の授業でもあるため、給食費を無料にしてほしい。
- 個々人の経済事情に合わせ、柔軟に返済できる奨学金制度を創設してほしい。
- 全国の人が移住したくなるようなSNS等による情報発信を行ってほしい。
- 道の駅にシーズンになるとレンタカーやキャンピングカーが止まっているが、利便性を高めるために調理もできる水場などの整備を行ってはどうか。
- 芦別の自然を生かした市民の森などの場所がほしい。

.....

今回市民の皆さんからいただいた貴重なご意見・ご提言を十分受け止め、検討させていただくとともに、今後の市政運営に役立てていきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、懇談会の詳しい内容について、お知りになりたい方は、まちづくり推進係までお問い合わせください。また、懇談会の結果概要は、市役所1階「市民参加と協働のコーナー」、総合福祉センター、青年センター、図書館、各コミュニティセンターに配置しているほか、市ホームページでもご覧になれます。

「まちづくり懇談会」の開催結果をお知らせします

市は、平成28年11月21日から29日まで市内6か所7回にわたって「まちづくり懇談会」を開催しました。

この懇談会は、市政運営にあたって大きな課題となっている、「株式会社芦別振興公社の経営状況等について」、「市立芦別病院の診療体制の変更等について」の現状説明と今後の対応について説明し、市民の皆さんから、これらの課題や市政全般にわたって率直なご意見をいただくために開催したもので、延べ240人の市民の皆さんが参加し、多くのご質問やご意見をいただきました。

今月は、その主な内容をお知らせします。



◆株式会社芦別振興公社の経営問題に関すること

【ご質問と回答】

Q. なぜ前社長が10月に辞任することになったのか。

A. 公社との話し合いで、今後2、3年で収支の均衡を図ることは難しいとのことであったため、市としてこれ以上市民の皆さんの負担を増やしてはいけないと判断し、ホテル等を運営する温泉会計事業を新たな指定管理者にお願いする方向としました。このため、前社長が辞任されることとなりました。

Q. 公社の経営が厳しいのに、前社長の報酬は高額ではなかったのか。

A. 公社の再建に向けた大変な仕事であり、前々社長と同額の報酬としましたが、その後、自ら減額しています。

Q. これまでの公社への貸付金と今後貸付を予定している貸付金については、返済の目途があるのか。

A. 公社に残る4会計事業で少しずつ返済してきたいと考えていますが、大変難しい状況でありますので、今後、さまざまな対応策を検討していきます。

Q. 新たな指定管理者は富良野市の会社とのことであるが、信用できる会社なのか。

A. 公募の際に提出いただいた過去3年間の決算書等の書類審査やホテル運営に係る具体的な提案があったほか、富良野市で営業しているホテルの客室稼働率が高く、また、お客さんの満足度も高いことなどから、信頼のおける会社と考えています。

Q. 新たな指定管理者が赤字を出した場合はどうするのか。

A. その場合は民間金融機関から借り入れていただくなど、市として赤字補てんはいたしません。

Q. 新たな指定管理者となった場合、合宿の里事業はどうなるのか。

A. 指定管理者を募集する際の条件として、市が政策として行っている合宿の受け入れについて協力いただけるよう要請しています。

Q. これほど貸付金が多くなる前に、もう少し早い時点で住民と相談する機会を設けるべきでなかったのか。

A. 議会にはご相談をしながら進めてきましたが、市民の皆様にご説明していなかったこと、また、事後報告になってしまったことに関してはお詫びいたします。

Q. 市長は選挙時の公約として振興公社の経営安定を掲げていたが、公約違反ではないのか。

A. これまで経費の節減や売上の増加に向け取り組んできましたが、経営改善ができなかったのは事実であります。このため、これ以上市の貸付けを増やさないよう民間の指定管理者にお願いするという方向にしましたので、ご理解願います。

【ご意見・ご提言】

- 従業員は不安であると思うので、現状や今後の雇用などについて、丁寧に説明してほしい。
- 調理人の退職により利用減につながり、新たな赤字の発生につながる。新たな指定管理者への移行の方法に少し無理があったのではないか。